

平成24年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 30

千葉県立船橋芝山高等学校 全日制的課程 普通科

1 期待する生徒像

人物が優れ、本校を志願する動機・理由が適切であり、能力及び適性を有し、かつ次のア又はイのいずれかの要件を具備する生徒

ア 学業成績が優秀であること。

イ 生徒会活動・部活動等において実績を有し、さらにその力を伸ばす意志があり、かつ、学業成績が優れていること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。
(3) 面接	一組あたり10分程度の集団面接を行う。 2名の面接委員がそれぞれA・B・C・Dの4段階で評価する。
(4) 志願理由書	志願理由を確認し、調査書を補完する資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

下記のアの数値を $\alpha$ とする。また、イ・エ・オ・カの数値の合計値を $\beta$ とする。各項目の最高点の計は、20点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。
イ 出欠の記録	3カ年皆勤を評価して数値化する。
ウ 行動の記録	必要に応じて○の数を評価する。
エ 特別活動の記録	役職や活動実績を評価して数値化する。
オ 部活動等の記録	活動実績や資格等を評価して数値化する。
カ 総合所見	エ・オの内容について評価して数値化する。

(3) 面接

下記の評価項目に従い、2名の面接委員がそれぞれA・B・C・Dの4段階で評価する。ただし、2名の面接委員がともにD評価をした場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 身だしなみ等	面接に臨む態度や、質問に対する応答について総合的に評価する。
イ 志望動機や高校生活に対する意欲等	

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願の理由	活動実績・特技等について調査書を補完する資料とする。
自己アピール	

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

① 「学力検査の得点」と「調査書の得点 $\alpha$ 」の合計を $S$ とし、 $S$ の高いものから順位を付けたとき、予定人員の70%（151位）までの受検者は、「期待する生徒像の要件 $A$ に該当する者」として入学許可候補者に内定する。

② 上記①で決まらなかった者については、 $S$ の値があらかじめ本校の設定した数値を上回った者の中から、「調査書の得点 $\beta$ 」の高い順に「期待する生徒像の要件 $I$ に該当する者」として入学許可候補者に内定する。

ただし、①・②のいずれにおいても、下記の点に該当する場合は審議の対象とする。

- ・学力検査の得点で、0点の教科がある。
- ・調査書の「教科の学習の記録」で、全学年の計が6以下の教科がある。
- ・「出欠の記録」で、3年間の欠席日数の合計が30日以上ある。
- ・面接の評価で、D評価が2つある。
- ・その他、調査書および志願理由書等の記載内容に問題がある。

##### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

#### 5 その他

過年度生については、個々に話を聞く機会を設ける。